

<水球陣>東日本リーグ第5戦

H25.2.23 対全慶応大 @慶應大学日吉プール

東大	3	1	0	1	計5
全慶応	1	4	4	4	計13

得点者：堀江さん（1）、三宅さん（2）、横山さん（2）

一部残留を決めた翌日の試合。この試合の勝敗は残留と関わらないが、対する慶応は一次リーグで大差を付けられたチーム。今日も浪間を欠く中での戦いとなったが、リベンジを期すつもりで望む。

第1ピリオド

相手ボールからスタートしたこのピリオド。相手の素早い攻撃に対して、東大はそのペースに飲まれないように自分たちの攻撃を保ち、カウンターを決めるなど3点を奪う。途中カウンターを出されつつも全員ディフェンスで失点を最小限に抑え、順調にゲームを進めた。このピリオド2点リードで終了。

第2ピリオド

1ピリの流れを維持したままつなげたかったこのピリオドだったが、前日の疲れからか相手のカウンターの本数が増え始め、カウンターディフェンスも全員で守れない状況が増える。結果的に多くの失点を許しこのピリオドで逆転され、流れは慶応に持っていかれる。

第3ピリオド

2ピリ目の悪い流れを断ち切りたい東大であったが、相手の素早い攻撃に対応することができない。セットディフェンスにもミスが出始め、ディフェンスで削られた体力が攻撃にも響きボールが回せず、このピリオド無得点。フローターの横山さんを使えないまま、ずるずると失点を重ねる。

第4ピリオド

2、3ピリと点差を開けられた東大は流れに乗る慶応の攻撃に全く対応できない。こちらの体力はもはや限界に近く、まともな攻撃ができないままカウンターで失点を重ねることが続く。永退者も出て、結果としてこのピリオドも悪い流れのままに終えることとなり、前回以上の惨敗となる。

結果として前回のリベンジをはかるどころか前回以上にひどい試合となってしまったこと

の要因には、前日に一部残留を決めたことによる気のゆるみが少なからずあったであろう。今回の試合を教訓に、目標の達成だけでなく最終的な順位にもこだわった水球をしていきたい。最後になりましたが、試合に出てくださった飯塚さん、堀江さん、三宅さん、有吉さん、下東さん、只野さん、横山さん、監督をしてくださった井出さん本当にありがとうございました。

(文責 疋田弘之)